育海の離島留学

2023年度 事業報告書

離島の暮らしのすべてが学びのコンテンツ

離島留学コース

全国の不登校児童生徒

・１年間（４月～３月）
・コース：登校コース/滞在コース

飛島相談室

笠岡市内の不登校児童生徒

・週１回（水曜日）
・時間：9:30-14:30（5時間）

日本財団「子ども第三の居場所」

2023年度 離島留学・飛島相談室概要

離島留学

1年間飛島で暮らす。
（全国の小中学生）

暮らしのすべてが学びのコンテンツ

離島で暮らす1年間。
仲間との共同生活は、楽しいことばかりではありません。毎日の食事の準備、掃除、洗濯。みんなで決めた担当やスケジュールは、自分の甘えだけで逃げることはできません。
自分たちに与えられた自由のなかで、役割と責任を背負って日々の暮らしが豊かになります。

飛島相談室

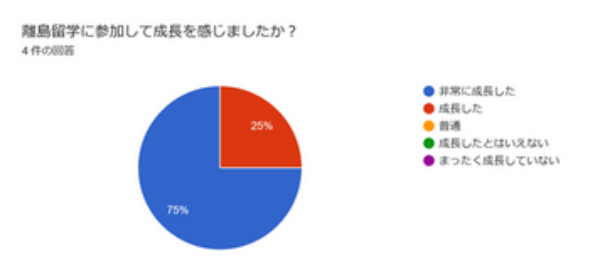
毎週水曜日に通う。
（笠岡市内小中学生）

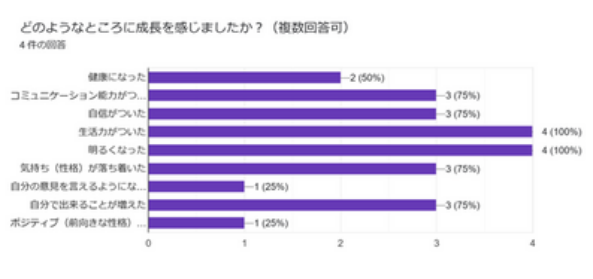
学校でも家庭でもない居場所

笠岡市内の学校に行きづらさを感じている児童生徒が対象です。
毎週水曜日に離島の飛島に通う相談室です。
美しい瀬戸内海の景観やゆったりとした島時間に包まれながら、様々な体験活動、仲間との交流をとおして心身の健康を取り戻します。

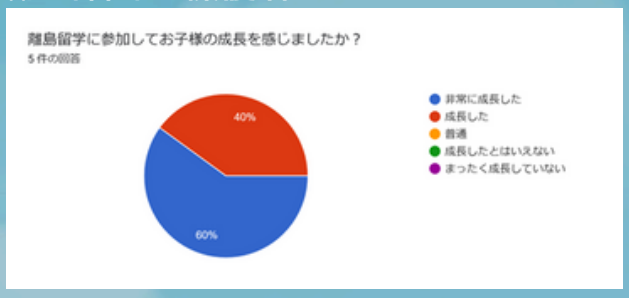
2023年度　離島留学・相談室アンケート

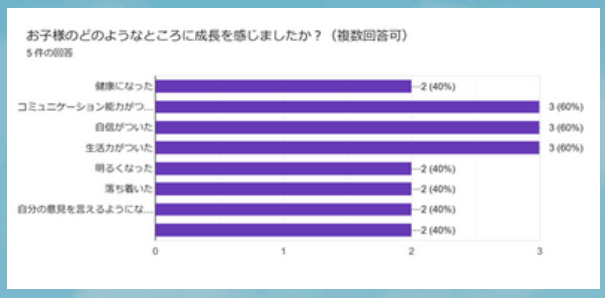
離島留学/生徒アンケート



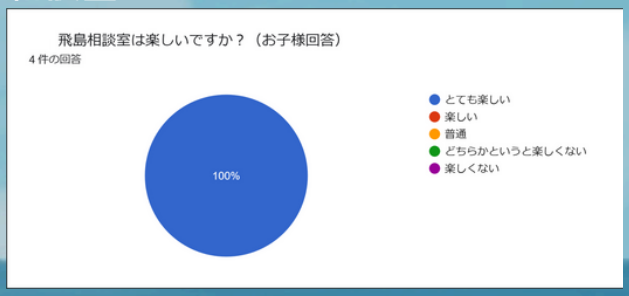


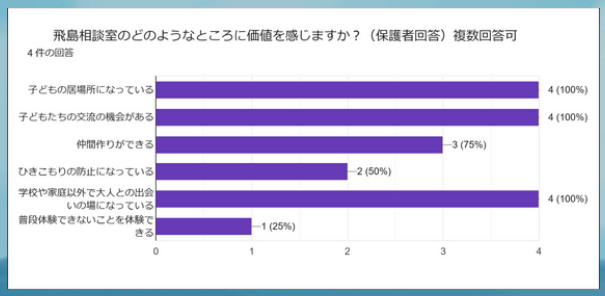
離島留学/保護者アンケート





相談室アンケート





なぜ、子どもたちは成長するのか？

子どもの成長で一番大切なのは、大人の「注目」であるという科学的エビデンスがあります。
私たちは、子どもの意欲や行動を見逃さないように、常に心の状態に注目しながら見守っています。
出来ないことが出来る瞬間。
勇気を振り絞って動きだす瞬間。
その生きようとする子どもの力を邪魔することなく
見守り続けることが私たちの喜びであり、子どもたちの生きる喜びに繋がります。

2023年度　離島留学生（前期8名・後期6名）
生徒対象アンケート：成長したと感じる / 100%（非常に成長した・成長した）
保護者対象アンケート：子どもの成長を感じた / 100%（非常に成長した・成長した）

2023年度　飛島相談室（6名）
生徒対象アンケート：楽しいと感じる / 100%（とても楽しい）

フリースクール育海の3つのステップ

FREE SCHOOL HUG-K-UMI

ステップ1

エネルギーを補う

安心できる環境で
いっしょに「暮らす」

ステップ2

エネルギーを使う

溢れる「やりたい」を
どんどん叶えよう。

ステップ3

エネルギーを蓄える

さあ、自分の未来を
見据えよう。

飛島が君の
「ふるさと」になる。

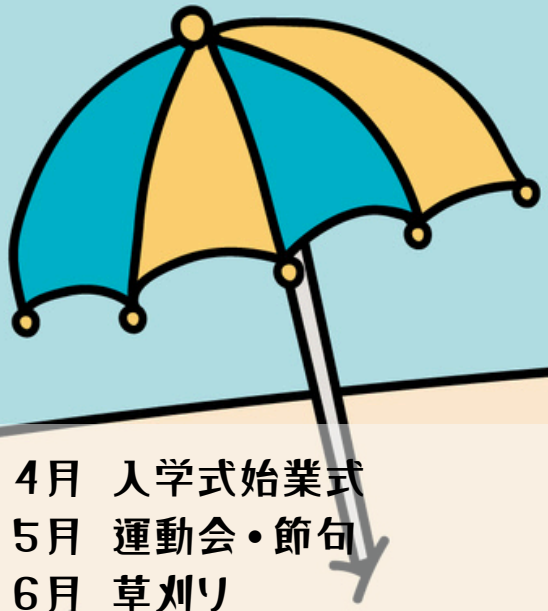
岡山県笠岡市飛島(ひしま)
2023年、居住人口は20数名となり高齢化率は90%を超える。商店や交番、病院もない島で、学校も十数年前に廃校となった。現在は廃校となった校舎が生活の拠点となり子どもたちの笑い声が響く。船が発着する桟橋で島民の皆さんを出迎える子どもたちの姿。笠岡諸島で最も子どもの数が多い島となった。子どもたちや育海などの関係人口を加えた高齢化率は40%ほどになり、島を支える一員となっている。教育による持続可能な地域振興の新しいモデルとなっている。

離島留学の1日と年間スケジュール

親元を離れて仲間と暮らす。「暮らす」の基本は、毎晩のミーティング。
思ったことやお願いしたいことは、なんでも話そう。なんでも話すから、なんでもみんなで乗り越えられる。

離島で「暮らす」とは、地域の草刈りも、伝統行事も、古くから伝わる生活文化も、自分たちにとって大切なこと。
島で暮らすとは、子どもたちも島民であるということ。

6：15　起床・朝食準備
6：30　朝食
7：15　登校(登校型)
8：00　活動(滞在型)
11：30　昼食準備
12：00　昼食
13：00　活動(滞在型)
17：30　夕食準備
18：30　夕食
19：30　ミーティング
20：00　自由時間・入浴・洗濯
22：00　消灯



4月　入学式始業式
5月　運動会・節句
6月　草刈り
7月　嶋祭り・海開き
8月　夏休み・お盆帰省
9月　修学旅行・敬老会
10月　草刈り
11月　公民館文化祭・交流会
12月　クリスマス・年末年始帰省
1月　受験
2月　島への恩返し
3月　つばき祭り・卒業式

運動会

手打ちうどん作り

卒業式

交流会

地域のすべての行事を島民の皆さんと一緒につくります。あたたかな交流が地域と子どもたちの原動力になっています。

江見 一輝（えみ いつき）

おかあさん不登校を認めてくれてありがとう！

「お母さんが育海を見つけてくれたおかげで学校に行けた！」
言葉にする度に家族への感謝の想いが溢れる！

いのしし捌く！

離島の暮らしを満喫しました！

受験勉強頑張った！

育海に行くと決めたのは自分を変えたいという気持ちが一番大きかった。
育海で過ごすなかで、学校に行けたらいいなと思うようになったんだ。
最初は緊張してたけど、島の人たちがなんの躊躇もなく気安く話しかけてくれたことがとても嬉しかった。
育海のスタッフは表でも陰でも支えてくれて、子どもに寄り添って相談に乗ってくれるところが好きでした。
育海で色々なことに挑戦して掴んだ成功体験のお陰で自分に自信が持てたことが良かった。

1年前の自分に伝えたい。
「大丈夫、色々な人が力になってくれるから自分を信じて前に進め！」

育海での経験を活かして調理師という道を進んでいきたいです。
家族のみんなへ「いつも陰ながら支えてくれてありがとうございます。」
兄弟には寂しい思いをさせるけど今は自分の夢に進んでいるから応援よろしくお願いします。

ひしま さくら（仮名）

飛島桜

学校行くの頑張りました！

3年間の不登校から皆勤賞！！
「挑戦して良かった。めちゃくちゃ成長したで！」

毎日学校に行ったで！

手芸は得意やねん！

苦手なことにもチャレンジした！

学校に行けない今の環境から抜け出したかった。変わりたかった。
育海に行くことに不思議と不安はありませんでした。
育海にきて1年前よりすごく成長出来ました。ご飯作ったり、洗濯をしたり、
自分の身の回りの事をできるようになったし、いつも誰かと一緒にいるのでコミュニケーション能力も付きました。
辛いことも沢山あるけど、その先に本当に楽しい生活が待っていることを学びました。
育海で受験勉強を頑張って志望校に入学出来たので、これからは高校生活と、大学受験を頑張りたいです。

家族のみんなへ伝えたい。
「いつも優しさで包み込んでくれてありがとう。家族がいるから生きていけてます！」

高校生になったら責任という言葉が肩に覆いかぶさり、もう親に頼ってばかりではいけないんだ感じています。
自分の選択を信じれる、自分を大切にできる大人になりたいです。

逢澤奏葉（あいざわそよ）

島で元気を取り戻しました！

「起立性調節障害による体調不良に苦しんでいたけど
すっかり元気になって、春から元の学校に復帰しまーす。」

K-POP大好き！

育海の生活を満喫！

朝起きれるようになった！

絶対にこの１年間で病気の症状を治して、ずっとずっと行きたかった学校に行くんだ！と願っていました。
育海に来てからは、親もいないし、料理も作らないと行けない、勉強もしないと行けないし
本当に私ここでやっていけるだろうかと不安で一杯でした。
スタッフの皆さんがいつも真剣に向き合ってくれたおかげで、１年間があっという間に過ぎていき
気がつけば病気の症状もほとんど気にならなくなっていました。
育海での生活のなかで、自分自身の行動、言動に責任を持つという事に意識を向けれるようになりました。
春から私は元の学校に復帰し、友達と青春を謳歌します！

島のみなさんへ伝えたい。

「飛島と育海が私の居場所になってくれてありがとうございます。」

またはやく、飛島と育海の皆さんに会いたいです。

ゆうだい・ひまり・つばき

もう１年頑張るぞ！

離島留学初の２年目に挑戦します！

シンガーソングライターになる！

ダンス大好き！

起業でもしますか！

１年前まで家族の前で素直になれない自分でしたが、育海に来て家族のありがたみを感じています。
人から愛されるシンガーソングライターになって親孝行することを目標に、人としてもっともっと成長したいです。
あと１年、悔いのないように育海での生活を頑張ります。（ゆうだい）

小学校４年生からずっと学校に行けてなかったけど、育海に来てから楽しく通うことが出来ています。
親元を離れて暮らすことにも随分と慣れました。仲間との生活はたいへんなこともあるけど、毎日が楽しいです。
今年も大好きなダンスで島民の方を喜ばせたいです。（ひまり）

自分が家に居てもいいことがないと思って仕方なく育海に来ました。
このまま独り立ちできる力を付けたいと考えているので、育海で毎日起業の勉強をしています。
努力したことが報われるとは思わないけど、努力しただけ得るものがあると思って日々を過ごしています（つばき）

保護者コメント

育海へ体験に行った日、それぞれの色を大切にして過ごしているのを見て、虹色の世界を感じました。
育海さんから「いつきくんは大丈夫です。任せてください。」と言ってくれたこと。
私が救われた言葉。１番言って欲しかった言葉でした。
この日をきっかけにいつきと離れて暮らす覚悟。
いつきの生きやすい道を全力で応援しようと決めた日になりました。
育海さんの広く大きな心のおかげで素敵な仲間と一緒に逞しく大きく成長できたと思います。
家族以外で待ってくれている自分の居場所が出来たことに心から感謝しかありません。
育海に出会えて本当に良かったです。

育海には感謝の言葉しかありません。
コロナの緊急事態宣言による休校後、糸が切れたように学校に行けなくなりもがき苦しんだ３年間を送りました。
何とかこの生活から抜け出したいという本人の強い希望で、育海で生活するというチャンスをいただきました。
親元から離れた生活は慣れるまでは精神的にも肉体的にも大変の様でしたが、
全力で支えてくださった学校の先生方や、温かく見守りサポートしてくれた育海のスタッフの方々のおかげで、
中学校へは１日も休まず通うことが出来ました。
育海、笠岡の地で一生の宝を得て、今後は自信を持って自分の望む道に進めると思います。
１年間お世話になりました。ありがとうございました。

起立性調節障害でも受け入れてくれる育海に出会い、本当に救われる思いでした。
育海は私が親として与えてやれないことをたくさん経験させてくれました。
兄弟も祖父母もいない奏葉にとって、ここで経験したこと全てが一生の宝物で、お金で買うことのできない経験です。
育海を卒業して、これまで出来なかった学生生活を思い切り楽しんでほしいです。
ありがとうございました。

スタッフ紹介

2023年、育海の離島留学は日本財団「子ども第三の居場所」事業に認定されて２年目を向かえました。
不登校・引きこもりの児童生徒を対象にした長期滞在型のプログラムは、子どもたちの安心できる居場所として、離島という地域と融合した新しいかたちのコミュニティモデルとなりました。
今では、子どもたちが地域のすべての行事やイベントを支える重要な役割を担い、島になくてはならない存在になりました。
子どもたちの成長は、ご両親にとっての喜びであることはもちろんですが、島民の皆さんの生活にも大きな潤いを与えています。

代表　堂野 博之

初めての場所！初めての仲間！最初は、
新しい環境にワクワクします。でも、「暮らす」は楽しい事ばかりじゃない。でも、君に起こる全ての出来事が君を育む力になります。
ご家族の皆様の一大決心を、私たちは２４時間体制毎日支えさせて頂けることに心から感謝いたします。
この飛島の育海はあっという間に子どもたちの心を溶かし、ここがみんなの「居場所」になっていきます。
そして心のふるさとなり、これからも続く長い人生の岐路でふと振り返った時、子どもたちの背中を押すようなそんな時間を過ごしていると信じています。

副代表　日置　幸

野﨑陽平　田邉佳和子　槇田彩花　山本彩生　糸島百子

一般社団法人飛島学園
住所：714-0302　岡山県笠岡市飛島6402番地2
Mail：hishimagakuen@gmail.com
H P：https://www.hugkumi2021.com
連携協力団体：笠岡市・笠岡市教育委員会（笠岡市総合教育相談支援センター）

育海が子どもたちを大丈夫にするのではない。
育海が子どもたちの大丈夫になる。

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

子ども
第三の居場所